

第V章 スクールプログラムの作成

ここまで、「検証改善プラン」、「指導体制プラン」、「教育活動プラン」についての考え方や、大切にしたい視点を述べてきました。この3つのプランについて、それぞれの学校が、それぞれの学校の実態に合った具体的な方策に取り組むことが大切です。

- 私の学校は、学校や児童の実態を把握するためにどのような工夫をするのか。全教職員が共通理解を図ったり、生徒指導に関する資質能力を向上させたりするためにどのような工夫をするのか。
- どの子にとっても6つの視点を生かした教育活動がなされるように、どのような工夫をするのか。
- こうしたことに組織的に取り組むための指導体制として、どのような工夫をするのか。

3月、生徒指導担当教員もしくは生徒指導部が中心となり、自分たちの学校のプログラム、「スクールプログラム」を構想します。

4月、校長の方針を受けて、新しいスタッフで、年度末の構想を基に、スクールプログラムを策定します。

策定したプログラムは「スクールプログラム・シート」にまとめ、全教職員で共通理解を図ります。様式は次頁のとおりです。

共通理解が図れたら、組織としての実践が始まります。

5月、生徒指導担当教員は、各校の「スクールプログラム・シート」を研修会に持ち寄り、交流・協議します。視点が共通なので、これまでの研修会以上に学校間・教職員間の相互理解や交流を深められるものと考えます。

香川県教育委員会としても、県内小学校全体の取組を把握し、ニーズに応じた研究や資料提供を行っていきます。

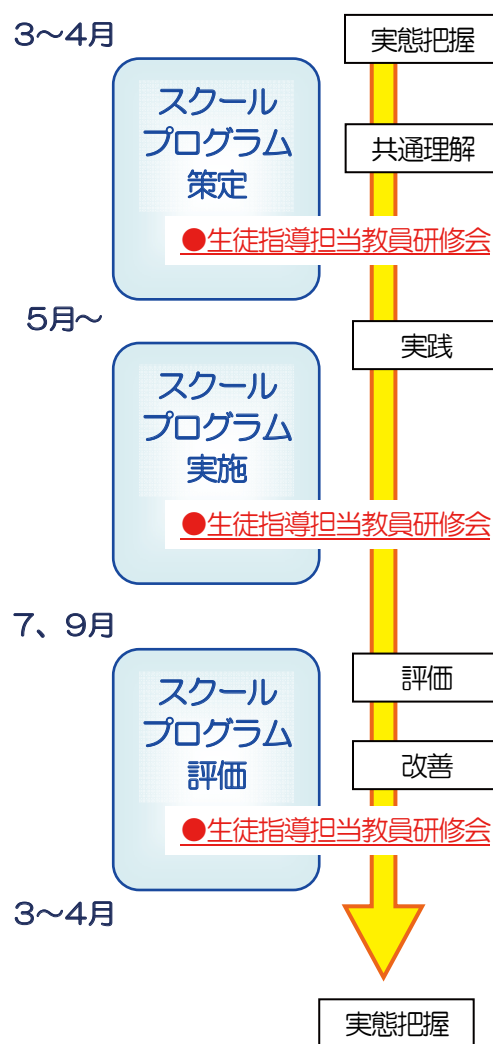
学期の節目や長期休業前には、実践について評価します。

十分な成果や願っていたような児童の変容が見られない取組についてはその要因を協議・分析し改善を加えることが大切です。

年度末には、1年間の取組を振り返りつつ、改めて学校や児童の実態を把握し、次年度のスクールプログラムの構想に取り組みましょう。

平成23年度は、11～12月、2月にも生徒指導担当教員の研修会を開催し、プログラムを推進していく予定です。ある学校で生み出された効果的な取組や工夫が県全体に広がっていくことが期待できます。

こうしたサイクルを繰り返すことで、魅力あふれる学校づくりに向けた学校経営・学級経営が構築されていくものと考えます。



〇〇〇立〇〇〇小学校

スクールプログラム 2011

裏面には、生徒指導に関する学校の取組を構造的に示す。

さぬきの教員 かかわりの3訓

① 共感的に受け止め

② チームの力で

③ 毅然と粘り強く

教職員のかかわり方を説明します
スローガン（目指す教師像）も考え
られます。

(記入)

(記入)

共通理解

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

※上下2枠に「共通理解を図る工夫」「資質向上を図る工夫」を記入する。

例
○児童の特性に応じたかかわり方の研修
校内研修の時間に、感情がコントロールできなくなる子の特性を理解し高ぶったときの対応や日ごろのかかわり方について全教職員で研修する。

実態把握

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

※上下2枠に「学校の生徒指導の状況」「児童の実態」を記入する。

例
○質問紙調査による児童理解
「いじめアンケート」を4、9月に実施し、児童の悩みや人間関係を把握する。学級担任が集計・分析する。(緊急性の高い内容については迅速に対応する。)

検証改善プラン

教育活動プラン

活躍できる

例
○評価カードを活用して承認・賞賛の機会を増やす
・友達のよさをカードに書いて掲示。
・全職員が見つけた児童のよさをカードに書いてプレゼント。

かかわり方を身に付ける

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文
重点をおきたい項目は、赤太線(2pt)で囲む。複数可。どのプランに重点を置いて可。

主体的に生活をつくる

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

安心して自分を表現できる

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

人とつながる喜びを味わう

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

自分を見つめ生き方を考える

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

「生徒指導の3機能」の視点から、学校生活における子どものかかわりを見つめ、よりよい教育活動を創造します
生徒指導担当教員を中心に、様々な役割を担う者が連携・協力して取り組める生徒指導体制を構築します

生徒指導をコーディネートする

例
○生徒指導部が重点項目の指導を提案
生徒指導主任、現教主任、特活・道徳・教育相談担当等のチームで、重点項目について毎月の指導内容を提案したり成果と課題を把握したりする。

上記の教育活動を推進する

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

個別のサポートをする

○ (記入) タイトル
(記入) 解説文

指導体制プラン